

## 臨床研究に関する情報公開(研究要旨)

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

|  |  |
|--|--|
| 番号   | 35   |
| 研究課題名  | 食道表在癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）における病理学的水平切離断端（pHM）陽性および不明症例の検討           |
| 研究責任者<br><small>（試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称）</small> | 消化器内科 副医長 間浩正  |
| 共同研究者<br><small>（利用する者の範囲）</small>                   |  |
| 研究目的<br><small>（試料・情報の利用目的及び利用方法）</small>            | pHM陽性ないし不明となる臨床的諸因子および、その後の再発について明らかにする。                           |
| 他の研究機関への情報提供の有無、及び提供方法                               | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無   |
| 研究実施期間   | 2019/01/01～2019/02/28  |
| 研究対象者及び対象期間  | 2008年4月から2018年3月に当院において（食道術後、放射線化学療法後遺残・再発病変を除く）食道表在癌に対してESDを行った症例 |
| 利用する情報<br><small>（利用し、または提供する試料・情報の項目）</small>       | pHM陰性率、根治度（Pcur）、病変の占拠部位・局在、術前病変位・周在性・肉眼型・術前深達度、糸付きクリップの使用の有無      |
| 研究の資金源<br><small>（利益相反）</small>                      | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません                                     |
| 備考   |  |